

貝藻くん NEWS

第7号 (2023年1月)



全国各地での貝藻くんの成果に関する最新事例を報告します。

漁港内水域を活用した貝藻くんの取り組み

【石川県】

七尾市では、水産多面的機能発揮対策事業を活用し、漁港内に海藻の着生基盤として貝藻くんが設置されました。また、漁港内は泥が溜まった海底となっているので、底質改善と貝藻くんの沈み込み防止用に貝殻を自然素材のマットに詰めたシェルマットも使用しています。

その他、稚ナマコの放流基盤としても貝藻くんが使用されています。

これらの効果については、今後のモニタリングで確認していきます。



漁港内に設置



ナマコ種苗



小学生による放流



貝藻くんに隠れるナマコ

【岩手県】

陸前高田市では、漁港水域を活用したナマコやウニの増殖に取り組んでいます。その中で、貝藻くんもナマコの放流基盤として使用されています。

2022年9月末に稚ナマコを付けた貝藻くんを設置し、その後のモニタリングで多くの稚ナマコが貝藻くんに生息する状況が確認されています。



取り組みを行っている漁港



ナマコ種苗を貝藻くんごとネットで覆って放流



小さいナマコ

隠れるナマコ

少し大きなナマコ

ベースにも付着

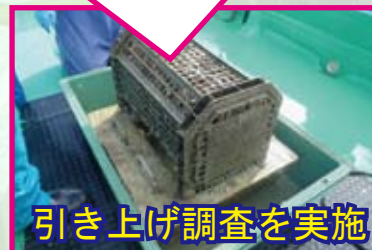
ナマコの種苗放流調査報告（香川県）

香川県では、マナマコ種苗の効果的な放流手法を確立することを目的に、貝藻くんなどを使用した放流調査を2021年度より行っています。今年度は、ダイバーを使用しない放流手法を検証しました。

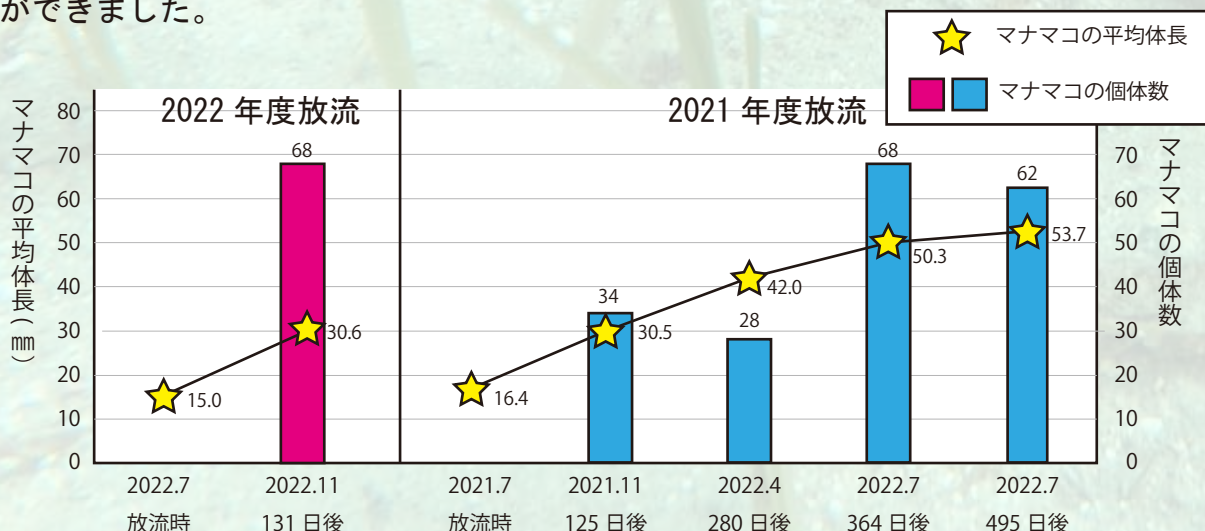
- ・ 調査実施： 2022年11月22日
(施設設置・放流から131日後、495日後)
- ・ 実施機関： (一社)香川県水産振興協会、JF香川漁連
鴨庄漁協、JF全漁連、海洋建設㈱
- ・ 指導機関： 香川県水産課、香川県水産試験場
- ・ 設置海域： 香川県さぬき市小串地区
- ・ 水深： 6m(底質：軟泥)
- ・ 設置施設： 貝藻くん中空型、貝藻くん、シェルマット



▲確認できたマナマコ



放流131日後の調査では、ダイバーによる放流を行った2021年度と遜色ない生残が確認され、ダイバー無しでも高い放流効果が見込める手法の確立に向けて、大きく前進することができました。



マナマコ種苗の平均体長と個体数の推移

離島漁業再生支援交付金等を活用した取り組み

今年度は九州・沖縄地区で、離島漁業再生支援交付金などを活用した貝藻くんの取り組みが行われました。貝藻くんを活用して、地域水産資源の維持・増産を目指しています。

【沖縄県】

那覇市沿岸では、タコ類などの資源回復を目指し、タコつぼ付きの貝藻くんが、地元漁業者の手によって設置されました。

貝藻くんは、船上から投入後、潜水漁師にがタコツボを固定し、岩陰などに丁寧に並べました。今後、タコをはじめエビ類などに対する効果も期待されています。



タコツボ付き貝藻くん



タコツボの取り付け



適地への移動



岩陰に配置

【鹿児島県】

三島村海域内の2地区で、食害防止ネット付きの貝藻くんが設置されました。貝藻くんには南方系の海藻類であるキレバモクの種系を取り付け、アイゴやイスズミなどの海藻を食べる魚が入らないようにネットで囲いました。

今後、種系が生長し、周囲へ藻場が広がっていくことを期待します。



食害防止ネット付き貝藻くん



キレバモクの種苗



ネットの取り付け



岩陰に配置

魚類放流の受け皿としての効果

【山口県】

岩国市海域の漁港内では、浮き桟橋付近の海底に貝藻くんが設置されています。

各箇所ではキジハタの種苗放流が行われていて、2022年11月に実施した調査では、貝藻くんを生息場とするキジハタ種苗やメバル、マナマコなどが確認されました。



設置された貝藻くん



キジハタ



メバル



キジハタ



マナマコ

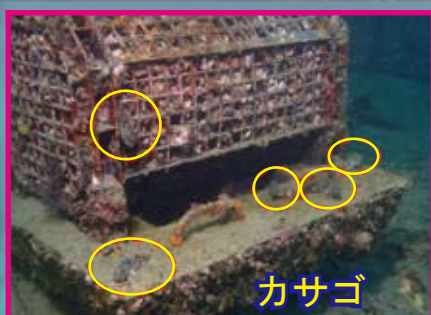
【長崎県】



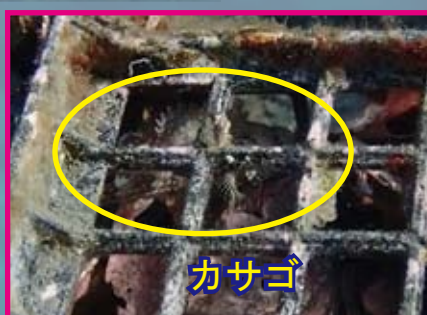
貝藻くん周囲を遊泳するマダイ

対馬市海域では、多くの箇所に貝藻くんが導入されていて、クエやカサゴ、マダイなどの種苗放流も行われています。

2022年12月に調査を行った2地区では、種苗放流が行われた各魚種が貝藻くんを生息場として利用している状況が観察できました。



カサゴ



カサゴ



クエ